

成人向
コミック

強く気高い女
2



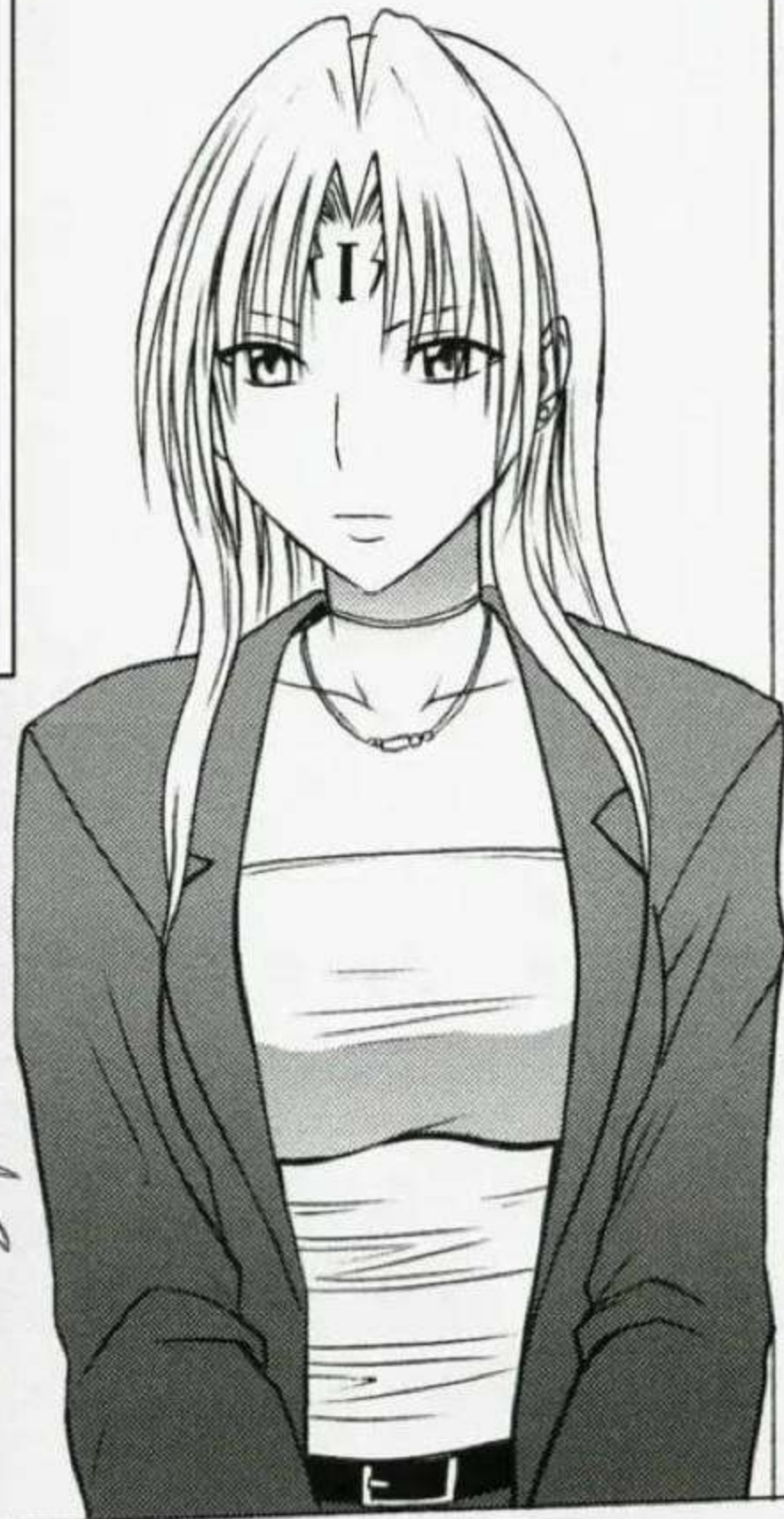
強く気高い女

2

作 / クリムゾン

電車内で痴漢に囲まれ
イカされたセフィリアだったが
下車駅の直前で解放され
なんとか目的地に着くことは出来た

なぜタイミングよく
解放してくれたのか
少し疑問ではあったが
とにかく次の任務に
集中することにした



よいか
No. 1
今から来る男に
気に入られ

何としても
会長のところに
導いてもらうのだ

私の指示があるまで
決して手荒な真似は
してはならぬ

すべて
おとなしく男の
言うとおりに
するのだ

電車内では
思わぬ失態をおがして
しまった…

今度こそ……！





おお
あなたがセフィリア
さんですか



よろしく
おねがいします



会長の秘書
ガラクです
よろしくおねがい
しますよ



この男に
気に入られれば
いいですね…
あらゆる社交術を
— 教え込まれた
私ならば…



さて…

それでは
セフィリアさん



会長に
会わせる前に

すこしチェックを
させて
もらいますよ



ん？
どうしました？

会長に
会いたくは
ないのですか？



えっ？

「……」だねー



……

ギシ
ギシ

今度は失敗するわけにはいかない……!!

あ……いえ……
その……

すこし突然
でしたので
驚いただけで……

（このままの指示通り……!!）

そうですね
まあ仕方ないですね

それでは
チエックを
続けますよ

ほほう
これはいい胸
ですね

……!!

お

お



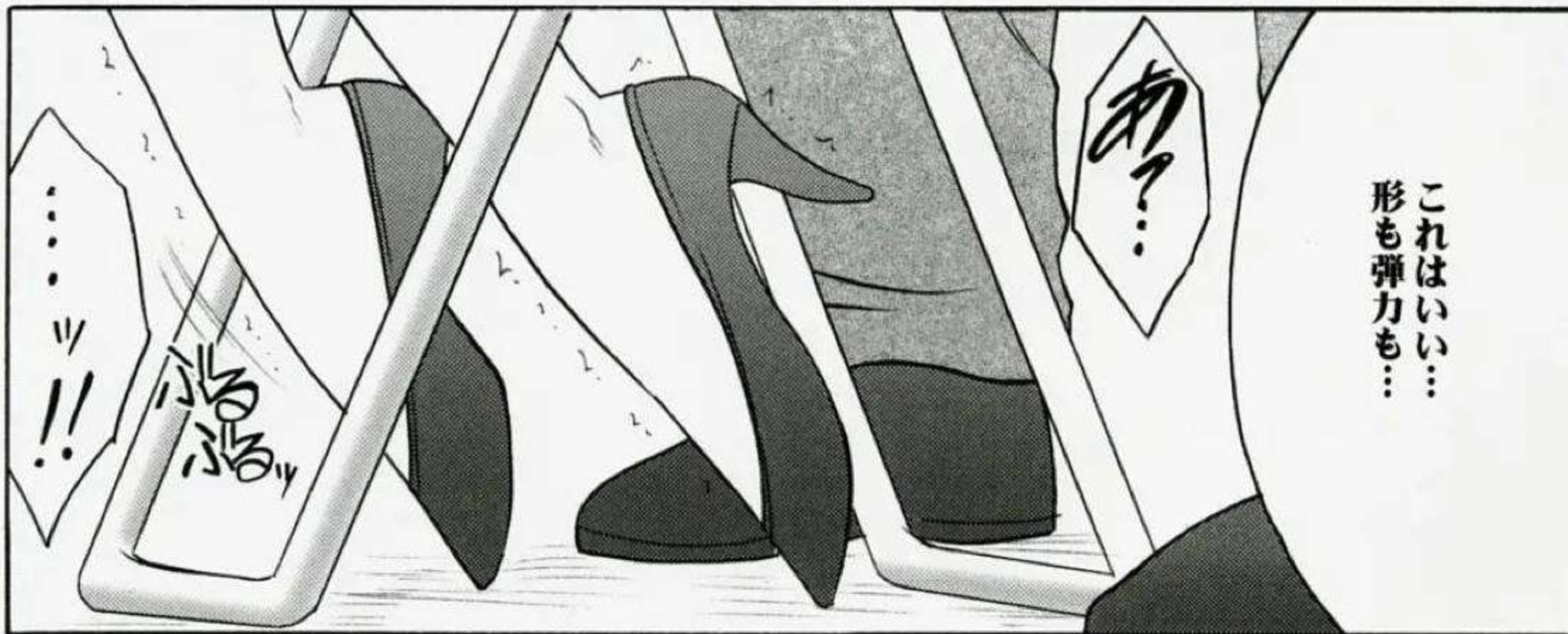
直に見せてもらいますよ

ほほう乳首の色もステキですね

バツバツ

えっ？

あっ！



これはいい…形も弾力も…

あ？

びりびり

……ッ！！



いい顔になつてきましたね

感度もいいようですね

びりびり

……ふうッ！



会長に
会いたいですか
セフィリアさん？

あ...あ...

カッ
カッ

カッ
カッ

カッ
カッ



大人しく
チエックを受けて
もらいますよ

ギョッ
ギョッ



だったら
これから
私の言うとおりに

ムム
ムム



あっ!

ギョッ

グッ



なぜ…
今日に限ってこんな…!!



乳首の
感度も最高
ですね

ほほう
これは…

ゴッ

ゴッ

ンッ!!

そんなに
気持ちいい
ですか？

では
もっと良く
して
あげましょう

あっ！

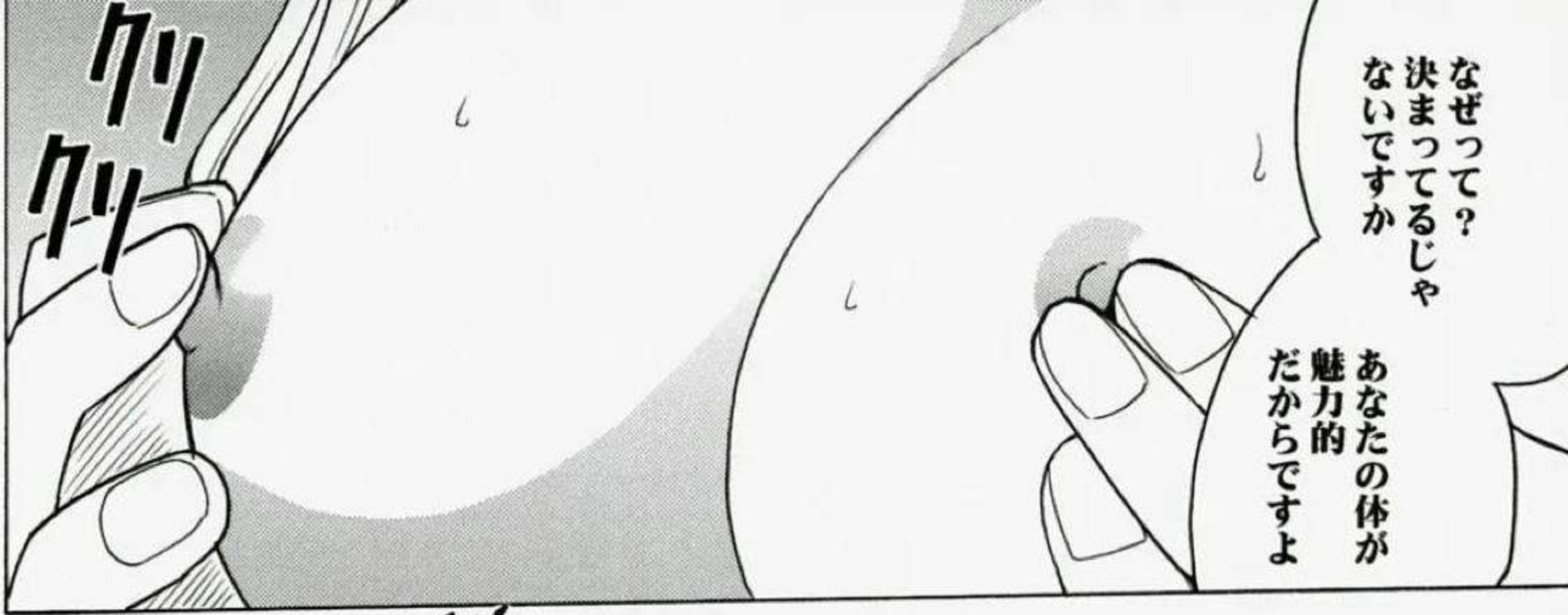
本格的に
チエックして
いきますよ

会長に
会いたいのなら
大人しくして
ください

ま…待って
ください！

なぜ
このような…

グイッ



なぜって？
決まってるじゃ
ないですか

あなたの体が
魅力的
だからですよ



豊かな胸
引き締まった腰

そしてこの
打てば響く
感度の良さ

まさに
男を喜ばせる
ためにあるかの
ような…



私の体は

クロノスのため…!

すべては
クロノスのために…!



そんな…違う!

私の体はそんなごとの
ためにあるんじゃない…!



おや?

ま…
待って!



こっちの
具合はどう
ですか?

グッ



すでに
湿っている
ようですが…

湿ってるなんて
レベルじゃないな…
ピチヨピチヨだ…

まずい…!!
下着が…

胸を触られた
だけでこんなにな
ったのですか？

んっ…

それとも
別の理由が？

さっき痴漢にやられたときのまま…

あつ！

直接指を入れて
確かめて
みましょう





んんん!!



ほほう
これは

フル

中まで
ヌルヌル
ですな

んっ...
フル



んんん!!

まだ胸を
いじりだして
2、3分しか
たつてなかったのに



セフィリアさんは
濡れやすい
体質なのかな?

グチュ

どうだ？
No. 1
順調に遂行
しているか？

まだ
自分からは
動いてはならぬ

私の指示があるまでは
そのまま
その男に従うのだ



まだ...

くっ...

あッ!!

くっ...

ゲチュ
ゲチュ

このまま
耐えないといけなの...?



え……？

両手を上げて
頭の後ろで
組んでください



非常に
いいですね

それでは
セフィリアさん

ハッハッ



でも……
逆らうわけには
いかない……

今度は何き……



これで
いいんですか……？

う……

そうそう
なかなか
従順だね



これは…

ハッ
ハッ

ハッ
ハッ

ハッ
ハッ

焦らすつもりなの…？

ハッ
ハッ





恥ずかしすぎる……!!

両手両足を
無防備に広げ……

大事な部分に
指を入れられて……

こんな状態で
何をされるか
待たされるなんて……

完全に心も体も
弄ばれてる……!!



終わった……?!



おっと……
もうこんな
時間か……

そろそろ
行かないとな

……!!

せつかくだから
最後まで
イカせて
あげましょう

喘
喘
喘

えっ?! あ...

あああ
あああ
!!

喘
喘



おや?
両手を下ろして
しまいましたね



クッ...この男...!

...!!
...!!

はっ!
大目に
見ましょう

まあ
気持ちよすぎて
思わず下ろして
しまったのなら
仕方ない



もうガマンせずに
イツても
いいんですよ

ほろほろ



あああ
あああ
ツッ!
あああ

ツッ
ツッ



.....!

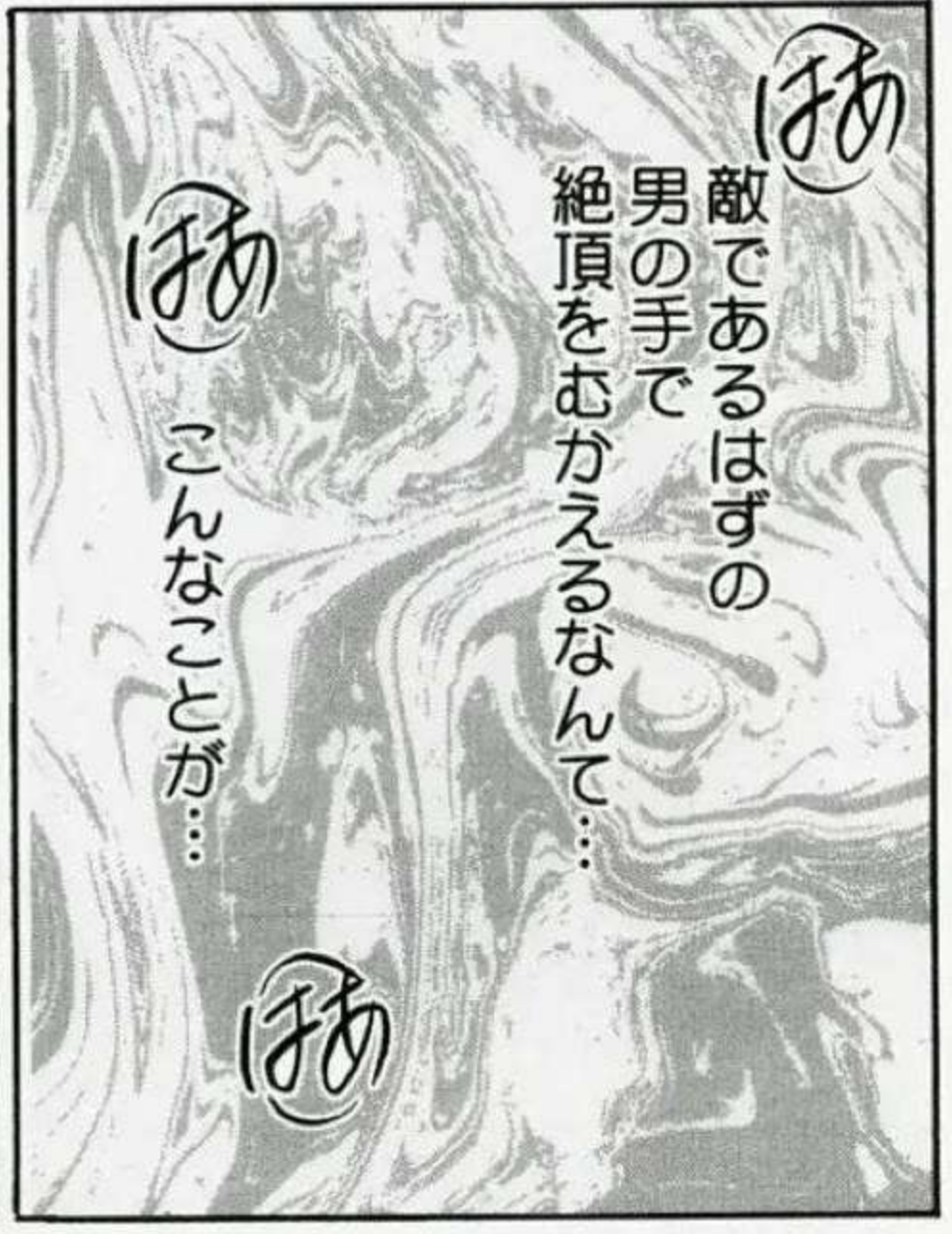
ぷるぷる

そんな...



それでは
次は

机の上に
手をつけて
ください



敵であるはずの
男の手で
絶頂をむかえるなんて...

あ

こんなことが...

あ



今までの苦勞が
水の泡に...

ス

ここは従うしか...



まだ...続くの...??

でも
拒否するわけには



えっ...

あ...あの...





そ...そ...は
...

ほらほら
動かないで

大事な
チエック
だからね

フル



あ
あ
あ

あ
あ
あ

あ
あ
あ

あ
あ
あ



おっ?
やっばり
ココでも
感じますか?



お尻の穴も
本当に
キレイですね



アナルの素質が
あると
思いましたよ





それでは
入れますよ

.....!
!?



会長より先に
瞳に挿入したら
もうしわけ
ないですから

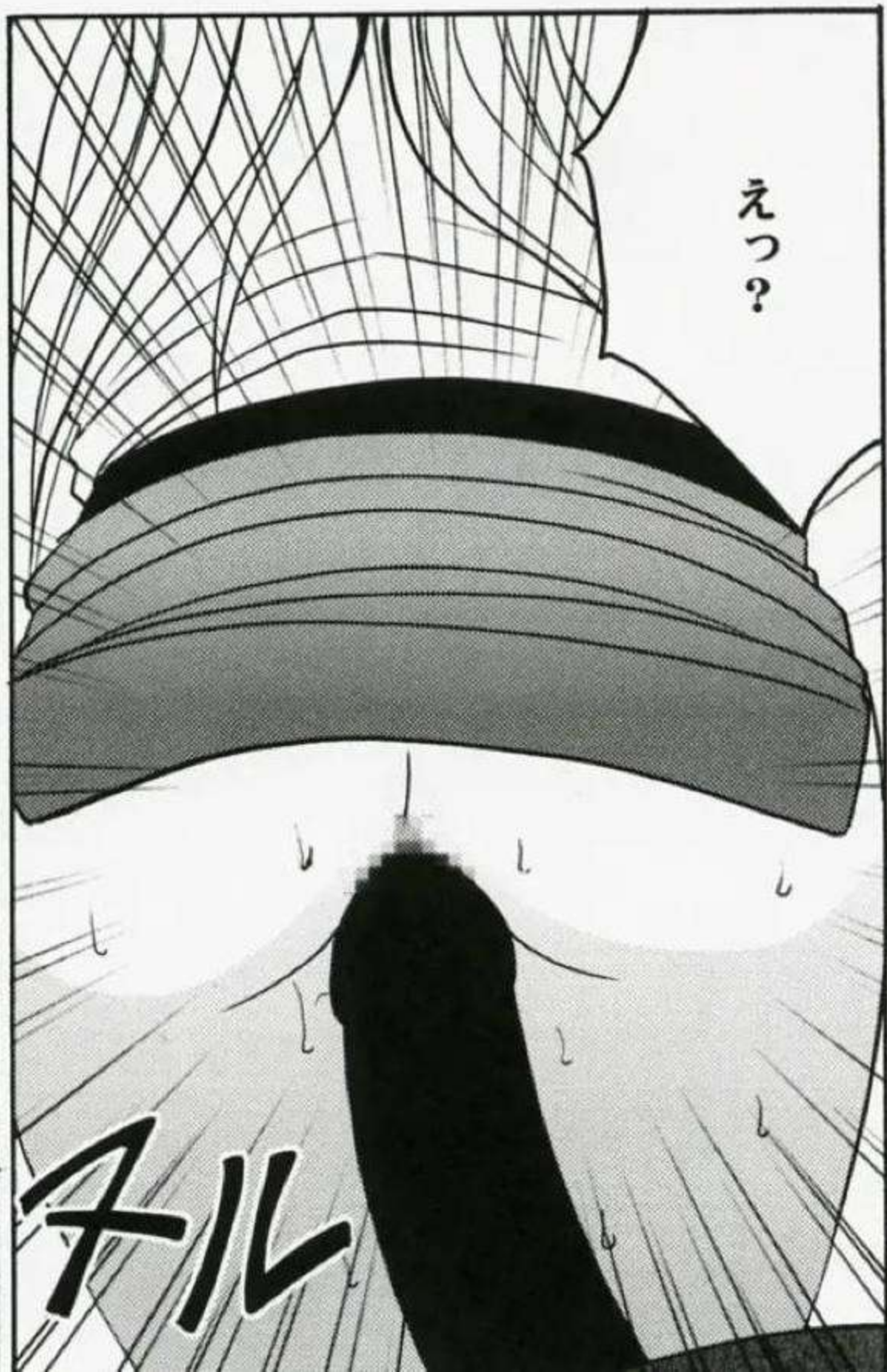
私は
アナルセックスに
しておきましょうか



えっ……?

この人が何を
言っているのか

全然意味が……



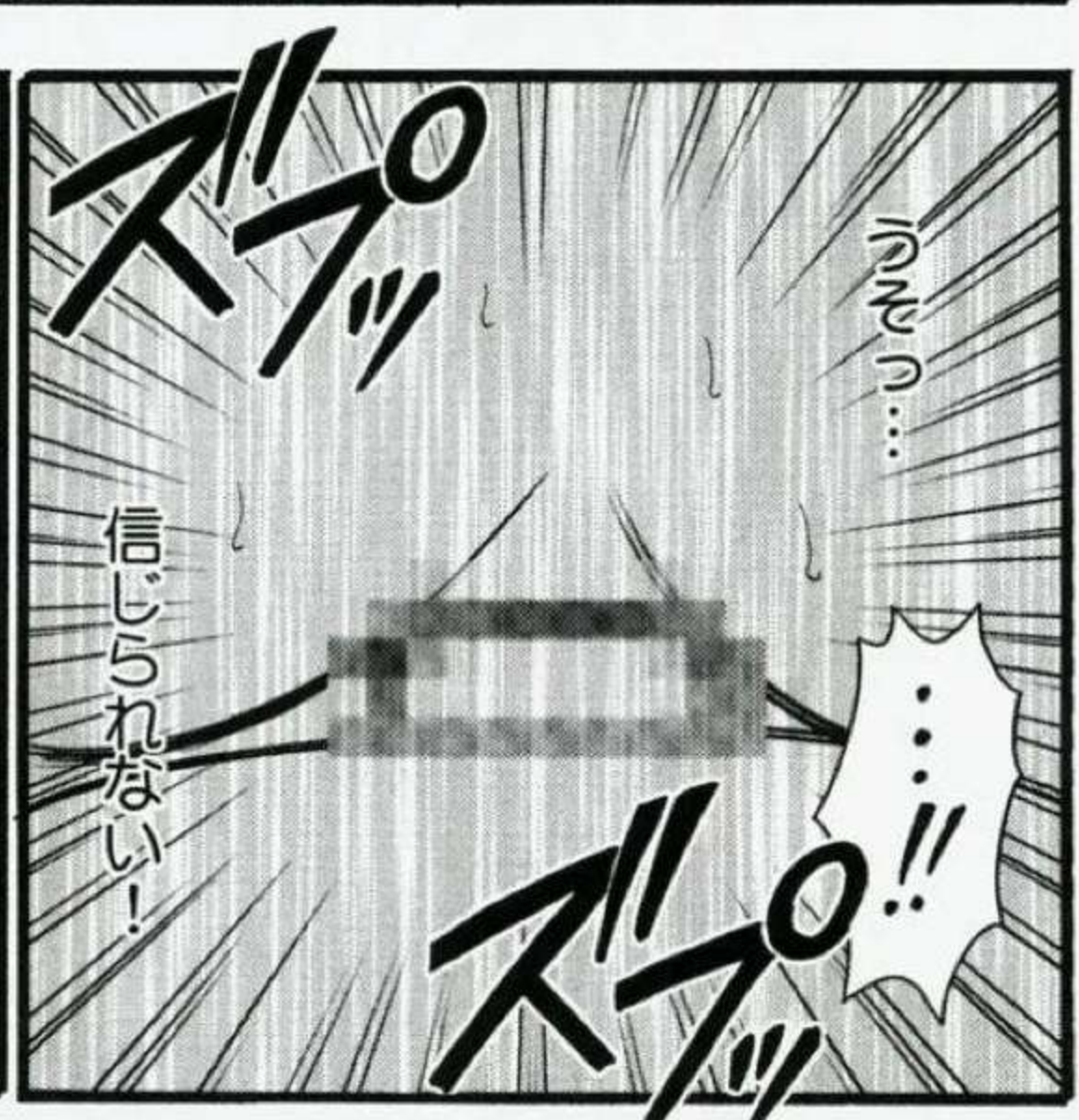
えっ？

アッ



.....!
!





ああ
ああ
ツッ!



くうあ
あああ！

おっ
やはりココを
つままれると
イイですか？

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ

そうそう
その反応が
見たかったんです

あ…
あなたのような
才女が
快感で乱れる
姿が…

ん…
ん…
ん…

それでは
また手を上げて
頭の後ろで
組んでください

えっ…

そんな…！

ムリなんですか？

まあ気持ちよすぎて
ムリと言うのなら
かまいませんが…

その場合は
ハッキリと
「気持ちよすぎて
できません」と
言ってください

……そんなの……!

そうそう

できるじゃ
ないですか

ほあ

ほあ

はっはっ

言えるはずがない……!

田んぼめるわけには……!

絶対に
下ろしちゃ
ダメですよ

……!!

んっ!

んっ!



まだ...

んッ!

ズッ!

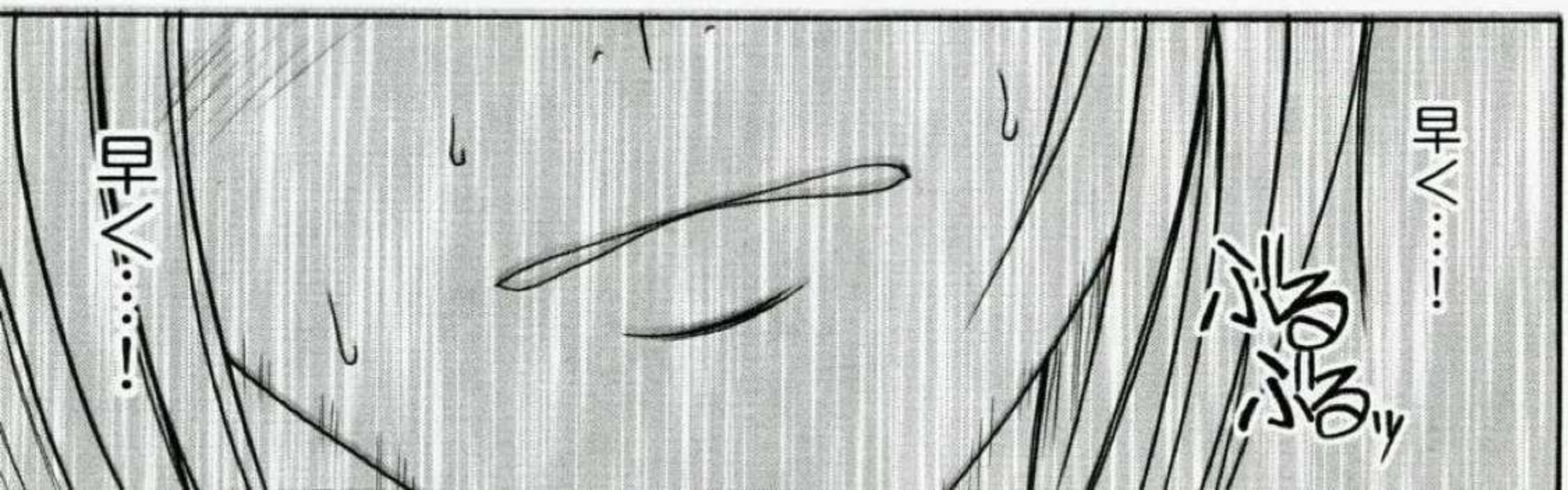
!!

まだ長老からの指示はないの...?

クッ...

クッ!

クッ!



クッ...

クッ!

クッ...



自らの意思で
手を上に挙げ……

ん！！

ささささ



抵抗したい……！！

ん！！

ん！！



自らの意思で
股を開き……

あ……！！

でも今
私がして……アヌスに……



大事な部分は指で、
かき回され……！！

アヌスに
男性器を入れられ……

あ……！！

あ……！！

ん！！



駄目……もう……

ゴッゴッ

ガマンの限界……!!

はぁん!!

んん？
やっぱり
ムリでしたか

よっほど
気持ちいいん
ですね

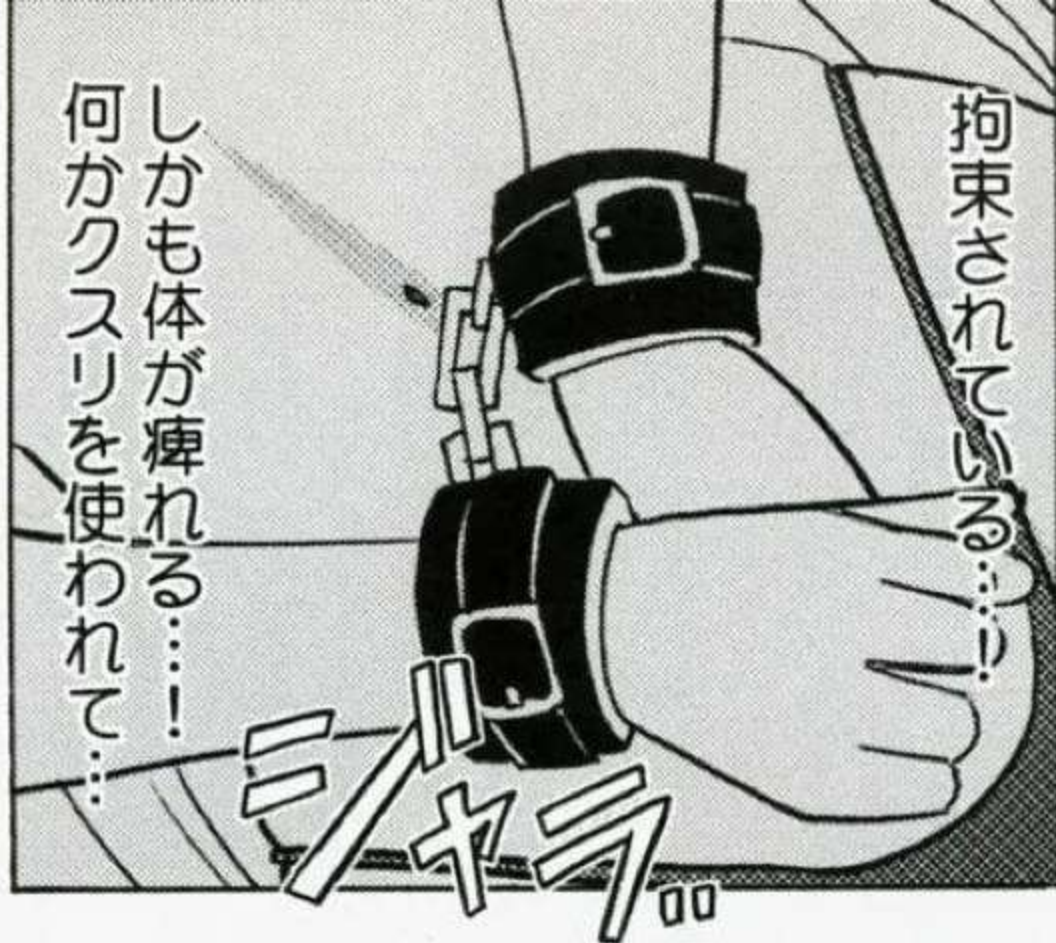
ゴッゴッ

それでは
またイッて
ください





目覚め
ましたね



拘束されている……!!

しかも体が痺れる……!!
何かクソリを使われて……!!



しまった
いつのまに……!!

まさか……!!
先ほどのアナルセックスで
失神していたというの？



ここは一体……？

それでは
始めましょうか

そうですね

この男が
ターゲットなの……？





んんんっ！

びるびる

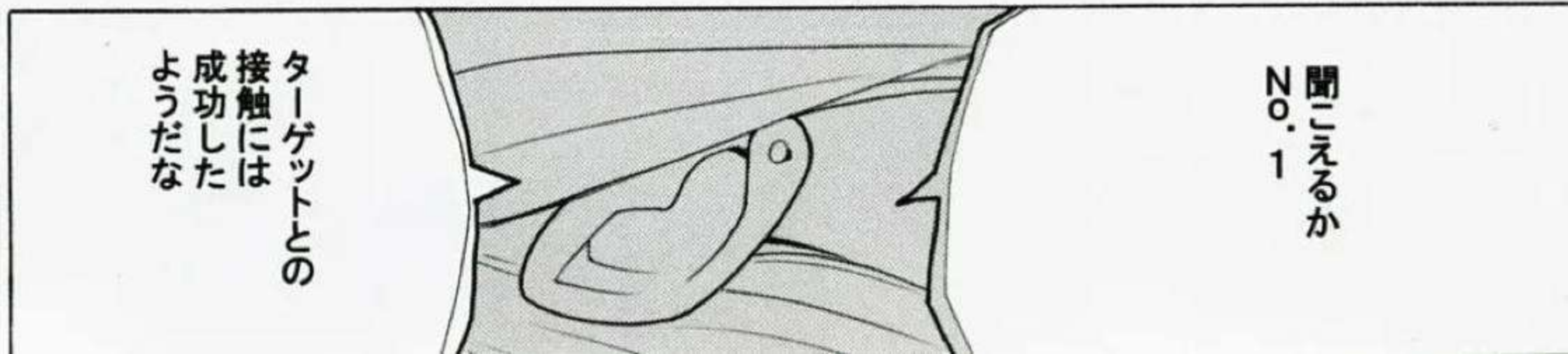
股間に何か
異物が…！



もっと
パワーを
上げましょうか

あはあッ！

びるびる



聞こえるか
No. 1

ターゲットとの
接触には
成功した
ようだな



長老……!!

早く指示を……!!

しかし
まだ動いては
ならぬ

まずはその男の
行動をすべて
覚えよ

しゃべった言葉
動き……すべて
覚えるのだ



そんな……

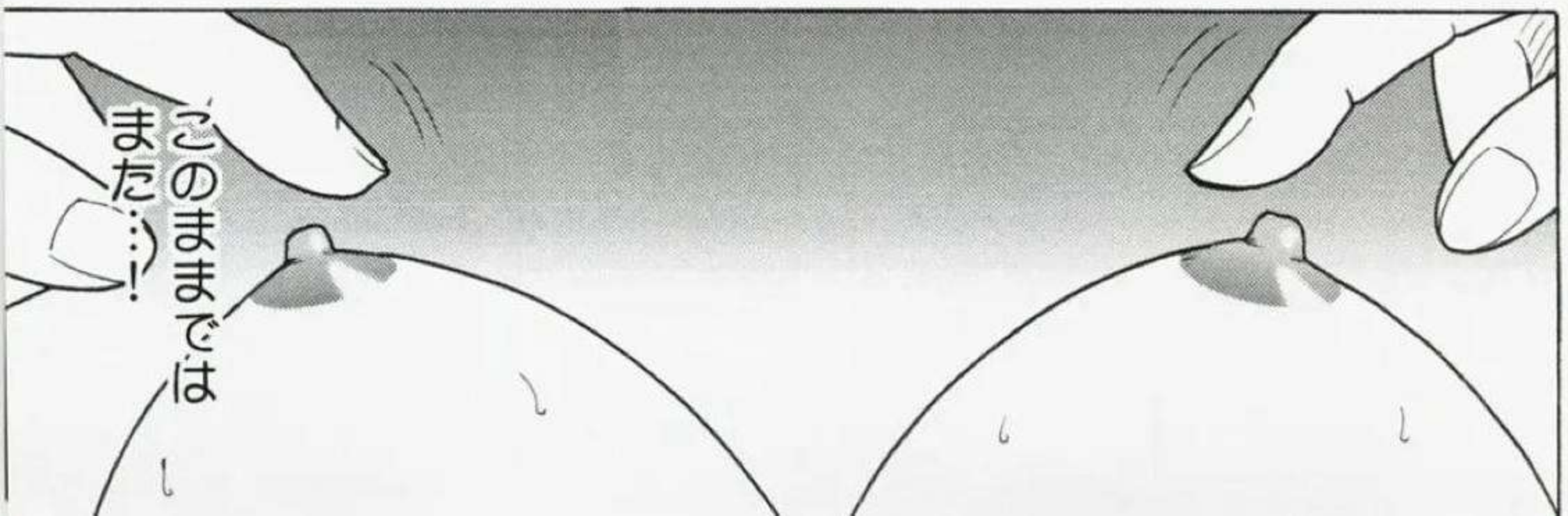
まだ抵抗しては
ならないと
いうの……??



それでは
本格的に

ニヤニヤ

苛めて
いきましようか



このままでは
また……!!



ホントに
敏感なんですよ
この女

抵抗できない上に...

んっ...

行動を覚えるだなんて...

カッ カッ



会長のほうが
お上手なようですね

ほらほら
どっちの
乳首が気持ちいい？

ああっ！

カッ カッ



こんな卑猥なことを覚えていかなければならないの...??

!!

ピチャピチャ

あ...

ピッ

すばらしい体の持ち主だね
キミは...



ピッ

はッ

あッ!!
ピッピッ

意識するまで
余計に感じてしまっ...

ニチャ

ニチャ

クチュ
クチュ



両方の乳首を同時に吸われ...

んッ!

くちゅ
くちゅ



舐められ...

あッ!!

もうガマン
できんなあ…



これは
すばらしい女
だ…

はやく
入れたくて
しょうがない

気に入って
もらえたようで
光栄です

口も
すばらしい

まさに
男の性欲を
吐き出すために
生まれてきたかの
ような淫乱女だな

ズグツ

屈辱的な
言葉をかけられ…

んんん!!
ズグツ

振動する異物で
秘部を責め抜かれながら…

ペニスを
くわえさせられる…

ズグツ

こんなことを
記憶して
おかなければ
ならないの…?



よしよし
くわえたまま
イッたようだな

はるはるッ

それでは
そろそろ
入れてやろう

ダメだ…
挿入される…!!

おお…
さすが長時間
パイプをくわえ
こんでいた
だけのことはある

もう
グチヨグチヨで
準備万端
じゃないか

長老!
早く指示を…!!

アッ

私に抵抗を…!!

抵抗を
おせよ…!!

長老…!!

アッ



んぐろう

ツッ! ツッ!

クッ

クッ

何なのこれは……？



寝ている間に投与された
クスリの影響なの……？

快感がいままでとは
比べ物にならない……!!

まずい……！
これではもう何も……！





聞こえるか
セフィリア

そこにいる
男達を
掃討せよ

反撃の
許可を出す



こんな状態で……!

もう無理……!



そんな……

でも…!
やらないわけには
いかない…!!

私は
やらなければ
ならない…!!

やめなさい
あなた達…

くっ!

今すぐ
やめないと…

おや?
いきなり
どうしたのかな?

逸物を
入れられてから
突然態度が
変わったなあ

ニヤニヤ

どうした？
私を
捕まえるのか？
んん？

気持ちよすぎて
頭がおかしく
なったんじゃない
ですか？



もうこんな
状態では…

やっぱり無理…

ほら もっと
抵抗して
みなさい

もう快感で
抵抗できない…！





あああッ!
あああ

表紙ボツデザイン



■■■■■■■■■あとがき■■■■■■■■■

今回は一巻を発行してすぐに描きはじめました。
ティファハードAでもつかった体勢ですが
膝の上に乗せてイタズラするみたいな構図は好きなので
かなりスラスラかけました。

後半のパートはちょっと前半よりはイマイチだったかもしれません。
テーブルの上に乗せた女体にチョイチョイとイタズラをするみたいな
イメージを想像していたのですが
うまくえがききれなかったですね。
やはり体が密着した絵のほうが描きやすいです。

今回はなんとネームをせずに
どんどん描きたいエロい絵を描いて行って
あとから話をつなげていくという手法でやってみました。
この手法のほうが勢いよくかけるのでいいかもしれません。

このシリーズは好きなのでまた描くかもしれません。
次もまた長老にムチャな命令をされてガマンする感じの
話にしようと思います。





初刷 2007年12月30日 発行

「クリムゾン」PRESENTS

強く気高い女2

<http://www.alles.or.jp/~uir>

印刷 大陽出版株式会社さま



この本をご購入していただきありがとうございました。
ネットなどに転載をしないよう どうかよろしくおねがいします。

まだ…このまま耐えないといけないの…!?

